

「教科書を使って主体的に学ぶ」ために（小学校用）

＜指導のポイント例＞

◆QRコードの利用

QRコードの活用について、児童、保護者に周知し、自分で進んで学ぶヒントになることを知らせる。

◆キャラクターのコメントに着目

キャラクターのコメントは、考えていくときのヒントになることを児童に伝える。

◆ワークシートの作成

必要に応じて、ワークシートを作成し、児童が教科書に沿って学習できるようにする。

＜教科書の活用例＞

【国語】

- 教材の下部にある「語句」や疑問に思う言葉などについて、国語辞典を活用して意味調べをしてみましょう。
- 新出漢字を練習したり、漢字辞典で意味や活用について調べたりしてみましょう。
- 詩などを視写したり、物語文や意見文などを読んだ感想を書いたりしてみましょう。
- 単元の最初のページにある学習のポイントを参考に、教材を読んでいきましょう。
- 単元末の「たいせつ」「いかそう」をよく読んで活用することで、学習のまとめにつながります。

たいせつ
人物像をとらえる

● 人物の様子や行動を表す言葉、会話文などから、その人物のものの見方や考え方を想像する。

● 語られる視点によって、人物の見え方はちがってくる。

● 自分と比べながら読むことで、人物像を深くとらえることができる。

いかそう
物語を読むときには、人物を表す言葉が、だれの視点から語られているのかに着目しましょう。

【社会】

- 単元のはじめにある「まなび方コーナー」や「めあて」、「学習課題」などを参考にすると、学習の方向性がつかめます。
- 「まなび方コーナー」や「学習課題」にある内容を解決するために、教材を読んだり資料を集めて考えたりすることで、単元で求められる力をつけることができます。
- 見開きの最初のページにある「つかむ」「調べる」などを参考にしましょう。「つかむ」「調べる」の内容をノートに書き、その後に教材を読んで大切だと思うところやまとめを書き込んでいくと、単元が終わるときには、学習内容を自分なりにまとめたノートが出来上がります。



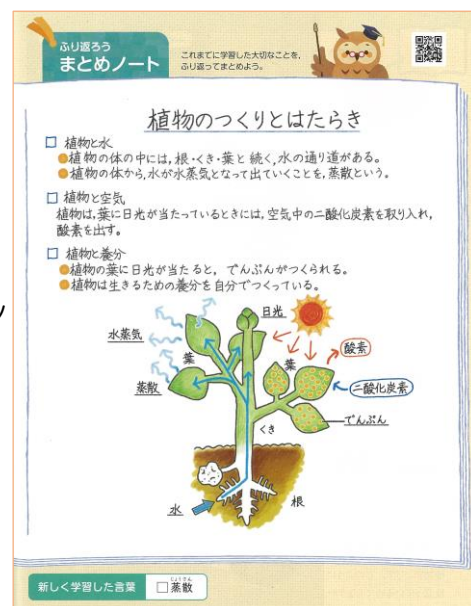
【算数】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 単元のはじめに付いているQRコードを活用すると、既習事項を確認することができます。また、教科書に準拠したワークシート集の中に、既習事項の確認ができるものがあれば活用しましょう。
- QRコードが付いている場所では、図や表のかき方などを動画で見ることができます。
- 単元末の問題に付いているQRコードを活用すると、解き方のヒントが分かります。
- 5年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。
- ワークシートを準備しておく、学びの蓄積や評価に役立ちます。



【理科】

- 教科書表紙のQRコードでは、全学年の教科書のQRコードの内容を見ることができます。
- 理科の学習が、教科書にあるように「見つめる」→「調べる」→「ふり返る」という流れで進むことを児童に知らせましょう。
- 単元のはじめにある「考えてみよう」をノートに書き写し、自分なりの予想を書いてから教材を読み進めると、課題意識をもった学びになります。
- 気づいたことや文章中の太字、「まとめ」の視写なども有効な学びにつながります。
- QRコードが付いている箇所があり、学習内容の補充やヒントとして役立てられます（機器の使い方や実験装置の作り方、動画など）。また、6年の教材の中には、プログラミング教育に関わるシミュレーションを体験することができるQRコードもあります。
- 単元のはじめの「思い出してみよう」に付いているQRコードでは、既習内容に関わる教科書の記述等を見ることができ、学習の準備に役立ちます。
- 単元末の「まとめノート」を視写したり、参考にして自分のまとめページを作成したりすることで、学習内容の確認ができます。



【外国語活動・外国語】

(3・4年生)

- 家の人と一緒に教科書のイラストを見ながら、数字や色、動物や食べ物の名前などを英語で言ってみましょう。

(5・6年生)

- QRコードが教科書及び Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) に約 200 箇所用意されているので、それらを活用して音声を聞くことができます。
- 教科書右上の Let's Sing. Let's Chant. のQRコードを使い、英語の歌やチャンツを聞くことができます。
- 5年生「日本のすてき」、6年生「世界のすてき」のコーナーのQRコードを使って、日本や世界の動画と英語での話を聞くことができます。問いもあるので、音声を聞いて考えてみましょう。また、紹介されている地域を地図帳で調べてみることで、社会科と関連付けて学習することもできます。
- Picture Dictionary (ピクチャーディクショナリー) のQRコードを使って、音声を聞きながら単語の発音を練習してみましょう。



外国語活動・外国語における「書く」活動については、「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写す」ということが学習指導要領解説に示されています。音声で十分に慣れ親しむことが難しい場合は、「聞く・話す」活動を重視し、英語を聞いたり声に出して発音したりする学習を行うことが大切です。



家庭学習と日々の授業がつながっていることは、子どもたちの学びに向かう姿勢や意欲を向上させます。家庭学習に教科書を活用することで、授業との連動が容易になります。そのような家庭学習にするためにも、「教科書っておもしろい。」「教科書をもとに自分で学習できるって楽しい。」と、子どもたちが感じられるようにしていきましょう。